

ヨハネによる福音書 14 章 1-9 節

私は道であり真理であり命です(2)

14:1 「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。14:2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

14:3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。14:4 わたしの行く道はあなたがたも知っています。」 14:5 トマスはイエスに言った。「主よ。どこへいらっしゃるのか、私たちにわかりません。どうして、その道が私たちにわかりましょう。」 14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。14:7 あなたがたは、もしわたしを知っていたなら、父をも知っていたはずですが。しかし、今や、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのです。」 14:8 ピリポはイエスに言った。「主よ。私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

14:9 イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのですか。

先週は、6節を見て、ヨハネの福音書にあるイエス様の7つの”I Am....”の断言の5番目である「私は道である」という部分に焦点を合わせました。今日はその次の部分「私は真理である」の部分に焦点を合わせたいと思います。簡単な復習ですが、イエス様の使っている「私は」と言う言葉は旧約聖書の出エジプト記3:14にある神様の名前であり、その名前を使ってご自分が永遠の神の子だと断言しています。先週説明したように、6節の三つの部分は深く繋がっていますから、イエス様を神様の唯一の救いの道として信じて受け入れたら、私達は初めて神様の真理を知るようになります。テモテ第一2:4「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。」救われてから、真理を知るようになるのです。イエス様を信じるまで神様が本当に存在しているかどうか分かりません。でも、イエス様を信じて受け入れる人は神様の真理を経験として100%の確信として知るようになります。

1. 永遠に変わらない神の言葉

イエス様は人間として生まれる前に神様と共に全てを作られた創造主です。ヨハネの福音書の一番最初の箇所にイエス様の事が書いてあります。

ヨハネ1:1 「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

1:2 この方は、初めに神とともにおられた。1:3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」

1:14 「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」

それで、毎週私が繰り返して強調している事は、イエス様に比べうる存在はいないし、その言葉は敵対していた人達でも認めざるを得ない言葉でした。

ヨハネ7:46 「役人たちは答えた。「あの方が話すように話した人は、いまだかつてありません。」

付け加えますが、これからも絶対にイエス様が話すように話す人は出て来ません。イエス様は、唯一の人間となった神の言葉として「恵みと誠（真理）に満ちておられ」ました。

別の聖書箇所と比べて見て下さい。

ヘブル人の手紙1:1-3

「神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られました。1:2 この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。

1:3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現われであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。」

イエス様は神の本質の完全な現れであり、今日の一番最初に読んだ箇所9節にも「私を見た人は父を見たのです」とあります。神様はどんなお方かを知りたい人は新約聖書にあるイエス様の姿を見てください。他の人を見たら失望させられますが、イエス様を見ている人は失望させられる事はありません。

旧約聖書は完成されていない神様の啓示の一部に過ぎず、イエス様がそれを完成させました。イエス様の教えを通して旧約聖書を解釈するのがとても大切です。初めて聖書を読む人が創世記から読み始めたら、大半の人はすぐ諦めてしまいます。新約聖書を、つまりイエス様が生まれてからの記録を読んでイエス様を信じて受け入れてから、旧約聖書を読む事をお勧めします。特に未信者の方に聖書を勧める時にはこのヨハネ福音書から読むように勧めます。この書はその目的で書かれたからです。

ヨハネ20:30 「この書には書かれていないが、まだほかの多くのしるしをも、イエスは弟子たちの前でなされた。20:31 しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。」

2. 人間として一番大切な真理

神様についての真理だけではなくて、イエス様は人間についての真理でもあります。どうしても答えなければならないのに、科学が絶対に答えられない疑問が三つあります。三つとも、切り離せないほど深く繋がっている疑問です。人間はどこから来たのか、何の為にここにいるのか、そして、どこに向かっていくのかという疑問です。この中からどれでも確信を持って答えられる人は全部同時に答えられます。イエス様はこれらの疑問について答えを断言されました。しかも、その答えを知っているだけではなくて私自身がその答えですと断言しています。だれでも、イエス様を受け入れて自分の罪が赦された確信を与えられると、その時にイエス様について聖書に書かれている全ての事を真実として知るようになります。先ずイエス様が本当によみがえられて永遠に生きている救い主だと知るようになります。そして、私達人間は聖書に書いてある通り神様に造られて愛されているという事も知るようになります。またそれと同時に、イエス様の十字架の犠牲によって自分と神様が和解させられている事によって神様との交わりを持つために造られたという事を知るのです。神様との交わりの中で生きる事によって、何よりも永遠にイエス様と共に天国で生きる事が自分の行き先であると確信することが出来ます。これによってそれまで知らなかった平安が心に溢れて来ます。イエス様は今日の箇所27節にその平安について教えられました。

14:27 「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」

この世の物をいくら手に入れたとしても、イエス様以外に何もこの平安を与える事は出来ません。この平安は不変の真理を知る事による完全な平安です。計り知れないほどの宝物なのです。

その反面、人間にとって知らなければならない現実があります。イエス様が「偽りの父」と言う名前を使って教えた存在です。つまり、悪魔と彼に仕える悪霊の存在が、実際のものである事を知る必要があります。もちろん、誰も、そんな存在を知りたくないのですが、知らないままで生きる事はとても危険です。

第一ペテロ5:8 「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。」

ですから、神様が聖書を通して一番厳しく禁じているのは、偶像礼拝と霊媒、占いなどです。つまり、イエス様によって与えられる聖霊、きよい御霊、真理の御霊以外の霊的な経験はすべて偽りの霊の働きです。

聖書でイエス様は悪霊を追い出す時に、よくその悪霊に向かってあなたの名前は何ですかと言って名前を言わせることがあります。なぜそんな事を言わせるのだろうと私は考えさせられます。悪の道に入って悪い事をやっている人間でも、自分の本当の身分を隠してやりますが、それはもちろん悪霊の働きの一番の特徴でもあります。本当の正体を見せたら、誰も絶対に関わりたくないからです。一番典型的な偽りの霊のやり方は、神様のように自分を見せかけるやり方です。だから、世界中に偶像礼拝があるのです。

悪魔がイエス様を誘惑した時でも、彼は聖書の言葉を引用してみましたが、それにだまされなかったイエス様に対して、次は「私を拝んだら、この世の全ての物とその栄光をあなたにあげよう。」と言いました。

イエス様は、聖書に神様の一番大切な戒めとして書いてある言葉「力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ」を適用して彼に答えました。

悪魔が身分を隠すもう一つの典型的な方法は、死んだ人間の霊と見せかける方法です。

コリント第二 11:14 「しかし、驚くには及びません。サタンさえ光の御使いに変装するのです。」光の御使いとして変装出来るなら、死んだ人間の霊としても当然変装出来ます。残念ながら、大勢の人がその仕業にだまされているし、彼を神として拝んでしまう人もいます。

北アイルランドの首都ベルファスト出身であるC.S.ルイスと言う有名な作家がいます。日本ではナルニア国物語が一番有名な作品ですが、彼は他にもキリスト教の本を沢山書きました。その一つは悪魔からの手紙と言う本です。その中に次の言葉があります。“悪魔の一番大きい嘘は自分が存在していないと言う事です。”

イエス様を信じて受け入れる人は人間としてどうしても必要な真理を知るようになります。その中に含まれているものに、悪の本質とその危険性があります。それについてイエス様は次の素晴らしい約束をして下さっています。

3. The Truth Shall Set You Free. 真理はあなたがたを自由にします。

本当の自由は全ての悪に打ち勝つ心の自由です。偽物の自由は自分勝手に生きる事です。

ヨハネ8:31 「そこでイエスは、その信じたユダヤ人たちに言われた。「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。8:32 そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

この有名なイエス様の言葉は世界中でよく引用されています。25年前ぐらいに初めて同志社大学に講演をしに行った時に、正門の壁にこの言葉が刻まれているのを見て嬉しかったです。

残念なのは世界中で引用される時、最初の条件が引用されないことです。「私の言葉にとどまるなら、」と言う条件です。人類の歴史で唯一「私は真理です。」と言えるイエス様の言葉を守らなければ、誰も罪と悪に打ち勝って、本当の自由を経験することが出来ません。その時のイエス様の言葉の話の続きを見て下さい。

8:34 「イエスは彼らに答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。罪を行なっている者はみな、罪の奴隷です。」

イエス様は罪からの開放の話をしているのに、彼らは自分の先祖に頼っていたので、永遠の不変の真理であるイエス様の言葉を受け入れようともしませんでした。

8:39 「彼らは答えて言った。「私たちの父はアブラハムです。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたがアブラハムの子どもなら、アブラハムのわざを行ないなさい。」

彼らの先祖は間違いなく素晴らしい人物で神の友と呼ばれたアブラハムから始まり、モーセや預言者達も沢山いましたが、彼らにとって自分達の先祖から受け継いだ伝統に頼ることが真理である神の言葉を拒否する原因になっていたため、イエス様はそれに対して次のように厳しい言葉を言われました。

8:44 「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。

8 : 44 b 彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」

世界一素晴らしい先祖でも、それを神様の真理よりも大切にするのは悪魔の嘘に従っているということだとイエス様は言いました。少し戻ってみましょう。

8:36 「ですから、もし子があなたがたを自由にするなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。」イエス様に従うことは、唯一全ての罪と悪に打ち勝ち開放される道です。

どんなに悪の道に陥ってしまった人でも、イエス様に従うなら、完全に開放されて神様の栄光を現わす存在に変えられます。

第二コリント**5:17** 「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

イエス様は、どんな人でも、全てを新しく作り変えられる素晴らしい救い主です。この言葉は先週一緒に見た**15節**の続きです。

5 : 15 「また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。」

これは聖書の中でも一番分かりやすい罪の悔い改めに関する説明です。自分の道ではなくて神様の唯一の道であるイエス様に従う決心をすれば、それが罪の悔い改めと全ての罪が赦される道となります。その上、従って行けば行くほど開放されて行きます。それがイエス様の約束です。

「私の言葉にとどまるなら、真理を知り、真理はあなた方を自由にします。」という約束です。

何回も繰り返して言いますが、神様の真理を知る秘訣は勉強ではなくて、従う事です。一生勉強しても、神様の真理を全く知らないままで終わってしまうこともあります。一瞬だけでも神の道であり、真理であるイエス様に従うなら、全ての真理に導かれます。イエス様はその為に真理の御霊を与えて下さるのです。

ヨハネ**16:13** 「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くまを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。**16:14** 御霊はわたしの栄光を現わします。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。」

聖霊様でも、自分勝手に話さないし、単独では働かれません。イエス様でも、私は自分勝手に話さない、何も単独でしないで父の御心に従っていますと言われました。

神様の御心に従う事が束縛される意味だと思っているのは悪魔と悪魔の嘘を信じてしまう人です。

初めて本当の自由を経験する時は従う時なのです。

まとめ

イエス様は断言して言いました。「私は道であり、真理であり、命です。」そしてイエス様の言葉に従う人に真理の御霊を与えられます。従い続けたら、増々本当の自由を経験します。その自由の中でイエス様と同じ姿に変えられていきます。

コリント第二**3:17-18** 「主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります。**3:18** 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」

テサロニケ第二**2:10** 「また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。」